

国立・国定公園内における風力発電施設 設置のあり方に関する基本的考え方 (骨子案)について

平成15年12月15日
環境省自然環境局国立公園課



前回検討会等における議論の概要

検討会の議論の進め方

- 基本原則（エコシステムアプローチ・予防方策等）に基づく価値付け・基準の検討
- 経済性という観点に左右されず長期的視点から検討

風力発電施設の自然環境・景観への影響

（全般）

事後モニタリング・フォローアップが重要

予防方策の適用により、事後評価を積み重ねて今後活かすべき

自然公園内でのアセスメント指針が必要

自然環境への影響は特異的・局所的に生ずるため、地種区分と異なる観点からの評価が必要

保護と開発のゾーニングの重要性

自然公園内における既存の人間活動、風力発電施設以外の工作物による影響やそれらへの対応とのバランスを考慮

風力発電施設の自然環境・景観への影響

(野生生物)

鳥類への影響（バードストライク）について日本でもきちんとした調査が必要。また、種への影響についても評価すべき

(景観)

場所ごとの是々非々で考えるべき

地域住民からの意見聴取も検討すべきでは

日本の地形・風景の特性を踏まえ、景観保全の観点から立地・規模・レイアウト等について検討すべき

風力発電施設の風景への親和性を認めるには機が熟していないのでは

海岸景観の保全について慎重な対応が必要

その他

洋上立地についても視野に入れて検討

自然保護と両立しうるような技術開発

公益性が高く許容すべき場合について整理

等



「基本的考え方」の骨子について

- (1) 日本の自然景観と国立・国定公園
 - 日本の自然景観の特質
 - 国立・国定公園の役割とその保護管理
- (2) 風力発電の特性及び環境保全上の意義
- (3) 風力発電施設が環境に及ぼす影響と対策
 - (景観・野生生物等)
- (4) 国立・国定公園内における風力発電施設の設置に係る基本的な取扱
- (5) その他の検討課題

1 わが国の自然景観と国立・国定公園

(1) わが国の自然景観の特質

(自然的条件)

- ・ 温暖・多湿な気候
- ・ 明確な季節変動
- ・ モザイク状の地質分布
- ・ 急峻な地形
- ・ 火山帯・島嶼国
- ・ 長く複雑な海岸線
- ・ 豊かな生物多様性

…等

日本及び東アジアの植生

(図:省略)

(生物多様性国家戦略小委員会資料集)

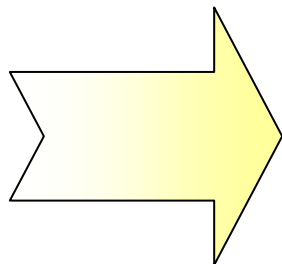
わが国における種の多様性の事例

近隣諸国及び同程度の面積を持つ諸国との哺乳類の固有種数の比較

国名	面積 (1,000km ²)	態様	哺乳類種数	固有種数	割合(%)
日本	377	島嶼	188	42	22%
近隣諸国					
韓国	99	半島	49	0	0%
中国	9,326	大陸	400	83	21%
ロシア連邦	16,889	大陸	269	22	8%
東南アジア					
フィリピン	298	島嶼	158	102	65%
マレーシア	329	半島・島嶼	300	36	12%
ベトナム	325	半島	213	9	4%
欧州北部					
フィンランド	305	大陸	60	0	0%
ドイツ	349	大陸	76	0	0%
イギリス	242	島嶼	50	0	0%
アフリカ					
象牙海岸	318	大陸	230	0	0%
マダガスカル	582	島嶼	141	93	66%
ジンバブウェ	387	大陸	270	0	0%
南米					
パラグアイ	397	大陸	305	2	1%

from World Resources 2000-2001, WRI2001

「生物多様性国家戦略小委員会資料集」より



複雑かつ多様な自然景観

景観要素のスケールが小さく
箱庭的